

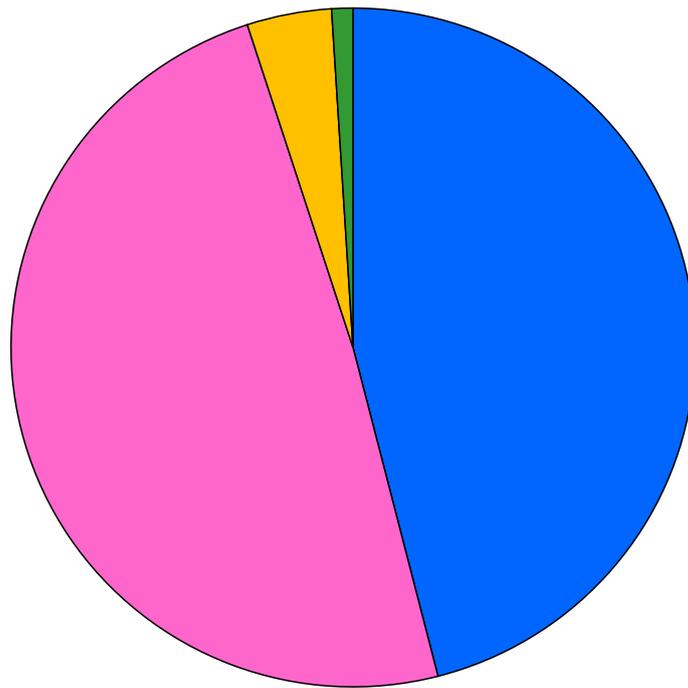
プログラム名 【ライブ配信】AVCC名称・定款変更記念
法話&クロストーク「どう生きるか
～自ら考え、行動する時代～」

単元名 RA

アンケートタイトル 【ライブ配信】AVCC名称・定款変更記念
法話&クロストーク「どう生きるか ～自ら考え、行動する時代

質問1 本プログラムの内容は、皆さまの今後の働き方や生き方の参考になりましたか？（択一式）

No	解答	人数	%
1	大変参考になった	50	46%
2	参考になった	53	49%
3	どちらでもない	4	4%
4	あまり参考にならなかった	1	1%
5	参考にならなかった	0	0%
		合計	108



質問2

【柴田住職による法話】

ご意見ご感想をぜひお聞かせください。（自由記述）

【自由記述】

- ・ 禅の話は、非常に参考になった。
- ・ 運営で忙しくてちゃんとフルで聞けてないので後程
- ・ 示唆に富むお話でした。来月、私が主催する合宿研修会で紹介します。
- ・ 88歳とご高齢ながら、大所高所の視点で大変貴重な法話をいただきましてありがとうございます。この難しい時代を「どう生き抜いていくか」の「道標」をお示しいただけたと思います。
- ・ 今日は柴田住職の法話を本当にありがたく拝聴しました。ありがとうございました。いただいた講演録も後でじっくり拝読いたします。
- ・ 宗教（仏教）について興味を持った
- ・ 「人のバックボーンに宗教が必要」とのこと、仏教の学習、手始めに優しい本を読んてみたいと思います。
- ・ 第2の人生大変面白く聞かせていただきました。
- ・ 生き方全てに感銘を受けました。
- ・ お坊さん視点のウクライナ情勢の話が聞けて興味深かった。
- ・ どう生きるか。
これからの自分の人生をよりよく生ききるためにどうすればよいか。 難題である。人により価値観が違うので、自灯明ばかりでは生きられない。
やはり、法灯明を勉強すべきなのか。
私も、柴田住職のようにリタイアしたらお釈迦様の言葉に触れてみたいと思った。
- ・ ありがたいお話、ありがとうございました。仏教のお話にも感銘いたしました。住職となり、88歳になられたいまでも、若い人たちとまじわり学び続けている姿に感動しています。まだまだお元気でご指導を賜りたいと思います。
- ・ 大変勉強になりました。
- ・ 普段、宗教とは縁遠い生活をしている私ですが、柴田住職のお話を聞いて、もっと身軽に、自由に宗教に触れてもいいのではないかと思いました。また、日本の仏教界が世襲制で、社会の現実と乖離しているとの話もありましたが、教育界と同じく、一度社会に出た人が仏教界でも活躍できるようになれば良いと思いました。
- ・ 社会経験を持ったご住職がいらっしゃる伝統佛教のお寺さんでしたら、お寺に通いたい気持ちになれそうです。多くの学びがありました。ありがとうございました。
- ・ 素敵な生き様に感銘を受けました。
- ・ 大学教授をしているのですが、学生がなかなか自分の人生に興味を持たず、どうしたら自分の人生に興味を持って色々なことに取り組んでくれるのでしょうか。

- ・ 第二の人生、宗教、社会に目を向けることの重要性認識しました。
- ・ 今後についていろいろ考えさせられました。
- ・ 宗教の大切さを学ばせていただきました
- ・ 考えさせる内容でした。
- ・ 現在と過去では仕事の有り様も変わっている。変わらないと思っていた宗教も世襲制によって変わっていることがわかった。
- ・ 我が家の菩提寺が臨済宗妙心寺派であり、法話でリンクするところがいくつかありました。親は昭和一桁世代であり、田舎の出ですので、仏教、寺との関係は深かったこともあり、宗教的な考えをベースに私と接してきたような気がします。（時にはうるさいことも）現在「宗教」というと身構えてしまうところがありますが、個人主義、自分さえ良ければというような考え方が多くなっている中、古き良き日本を継承するには一定レベルの宗教の考え方が必要ではないかと感じました。
- ・ 冒頭のカーナビのお話は、現代社会の特質を一言で言い表した素晴らしいたとえだと思います。私はカーナビ社会に飲み込まれないように今どう知んなければならないかを常に考えながら生きていかなければならないと思いました。
- ・ 初めて生でお話をうかがいました。法灯明・法灯明は ためになります。
- ・ 宗教については考えたことが、あまり無く今後は考えてみようと思った。人の役に立つことも考えていきたい
- ・ 日本人は元々、自己問題解決力があつた。とのコメントが印象的でした。問題解決が求められるこれからの時代、昔の日本人が学んでいた仏教を私も少し学んだみたいと思います。
- ・ 人生の大先輩の法話をお聞きし自分のこれからの人生の参考とします。
- ・ 仏教の心とは傍を楽にすることと理解しました。組織への貢献は勿論のこと地域への貢献そして利他の心を大切に、行く先は共存共栄の『道』であることを心に留めます。
- ・ 仏教のみならず世界の宗教の影響力が世襲によって失われつつある、宗教施設がただの観光施設となっているという話が興味深かったです。法人化した宗教組織に対する畏敬の念が失われていること、なにか宗教というものが胡散臭いものとして扱われている現実を感じます。宗教者も信仰者も、今一度、財ではなく理念に立ち返ることが必要だと思います。
- ・ 西洋のキリスト教と日本仏教の違いについて楽しく学ぶことができました。遠路、本当にありがとうございました。
- ・ 仏教を通じた日本人としての心の在り方を学ぶことができました。技術の進化や欧米の思考が全て良い訳ではなく、ご先祖様を想う心など、これまで先人が大切にしてきた日本人の所作を学び、次世代にも残していきたい。
- ・ 様々なご経験をされており、若々しく穏やかな姿勢に感服致しました。
- ・ 「元々はどの宗教もいいこと言っているんじゃないかな。言っていたんじゃないかな

」とやったことがあります。アフガニスタンのイスラム教の問題はニュースで度々目にしますが、そのイスラム教でさえ、「女性を守る」という教えを時代とともにアップデートできていたら、現在の評価を受けていないのではないだろうかと感じています。

・宗教がほどよい距離感で常に身近にあるとよいと思いました。

・どう生きるか、と聞くと人生の羅針盤を定めることと聞こえた。まず、私の基本的な考えとして、殺生をしない、ものを大事に扱う等ということは終生変わらないことだと思う。基本的な考え方以外は、羅針盤を設けず、アンテナを張り巡らし、自分が一番良いと思う方向へ歩いているようにしている。具体的な生き方は述べることができないが、基本的方針は上記のとおりであることを認識できたことが良かった。

・よくお寺を訪問し、お話しする機会があればお話をさせて頂くのですが、悩んでいるとき等には非常に刺さるものがあります。

・人間の欲望は無くならない。戦争もなくなる。自身の抑止力は、宗教から学ぼう。・・・は、若い仕事をしていた現役時代は、余裕もなく過ごしていました。退職後、いろんな人との出会いから、生きる視点の相違に学ぶことが増えました。KK2様との出会いがあり、今日のような学びの場が与えられましたことを幸せに感じ感謝申して居ります。仏教の真髄にもふれたいとおもいます。又ご法話をお聞きできますように・・・。ご健勝で、益々のご活躍をご祈念申して居ります。ありがとうございました。

・宗教を学ぶべきと何度もお話しいただきましたが、宗教の言葉のイメージが悪く、今回のタイトル「どう生きるか」を教えて頂ける場（お寺）が大事だとつくづく感じます。昨日の仙台育英の須江監督の言葉のようにどう生きるかが大事だと思います。

・勤め上げた後、住職となられさらに大学で勉学に励む。御年88歳と仰っておりましたが経験値をいつまでも高め、それを貢献する姿勢に共感を持ちました。

・多方面からご講話いただきました。ありがとうございました。仏教がもたらすすばらしさを再認識しました。座禅の合宿に参加しましたので懐かしく感じました。「現代の不安と宗教」の本をAmazonで購入いたしました。自灯明、大事にしていきたいと思います！

・地域でどう生きていくか人生を考える事を初めてみようと思います。

・ロシアのウクライナ侵攻もTVを賑わす事件もよく考えると何がしかの人間の欲望が基になっているように思える。もっと些細な日常的な怒りや妬みも宗教観をもって覗いてみると解決の糸口が見つかるかもしれないと思えた。

・会社をリタイアしてから住職になられ、しかも現在大学で学ばれている方から貴重なお話をお聞きできとてもよかったですと思います。クロストークでも話題になりましたが、仏門に入られる動機はなかなか凡人にはまねできません。

・現代人が宗教的意識を失っているというお話を哲学科の教授が60年前に書いた書籍をもとに照会がありました。宗教が必要であるとのお話、ためになりました。人類は2度の世界戦争を経験して、尚も世界は戦争に向かっている今、人間の原理（法灯明）で自滅に向かって歩んでいるという現実には人間の限界を感じます。今の自宅には神棚はありますが、仏壇は実家の仏壇の写真を置いてあるだけです。そしてZ世代の息子には先祖への感謝や供養を忘れないよう、今後小さくても仏壇を置きたいと思いました。勿論、仏教の勉強もした方がいいかなと少し思いました。ありがとうございました。

・自分の仕事や日常生活においても個人の狭い考えにとどまらず、もっと広く社会性を

考えないといけないことを教えられたように思います。自分のことではなく、相手のことをまず考えてから行動するように心がけたいと思います。

・宗教を持つこと、少なくとも、信仰心を大切にすることは、人間力を高め、視野を広がるのだと気づかせて頂きました。祖先を大切にすることは、自分の見えない子孫も大切にすることは繋がりますね。これは、サステナブルにも繋がります。個人を越えて、社会を超えて、時間も超えて、今、この私がどう生きるかを考える事ができました。ありがとうございました

・ご自身の普通には思いもつかない、その生き方を示されて、自分で考えることの自由性を雄弁に語られた。

・宗教に興味がなく必要性もよくわかっていませんが宗教とは別でも社会貢献できる人間になろうと思いました。

・興味深い宗教のお話有難うございました
社会経験が相談や問題に対して解決に導く事に役立つという事 また、これからの人生で今までとは、全く別の分野でも生かせると言う事を教えて頂いたお話でした
有難うございました

・日本の社会に道德の規準がなくなってきたいま、宗教の必要性を考えるべきとのお話が共感できました。バックボーンとおっしゃっていましたが、宗教の教えの通りに行動するというのではなく、人生を考えるベースに宗教を置くというように感じました。

・臨済宗開眼寺の住職に留まらず、その先の道をいまだに切り開く意思、行動力には尊敬しかありません。法話についても相手目線の視点にたったお話にいちいち納得するものでした。蛇足ですが私の家の宗派は真言宗ですが、臨済宗の御経にはいつも心地よい、そしてカッコいいものを感じております。

・宗教教育の必要性は大変うなづけるものがありました。昭和の時代までは、仏壇、神棚が身近にあり、改めて宗教を学ばなくても家庭の中で道德やモラルが育まれていたように思えます。その後、若者が一人暮らしをするのが当たり前となっていき、家から仏壇、神棚のスペースがなくなっていきました。また、オウム真理教の事件により、宗教とは怖いもの、忌避するものという考えがより一層すすんでいきました。しかし、避けることで何の知識もなくなりノーガードとなってしまったことで、統一教会をはじめとした金目的の似非宗教がはびっこてきたのではないのでしょうか。

・小さい子供たちは大人のすることをよく見えています。先日も2歳の孫が仏壇におもちやで作ったハンバーガーを黙ってお供えしていたのを 後で気が付き、ハッとさせられました。古き良き教えは伝承しつつ、宗教も時代とともに進化していくということを心にとめて日々送りたいと思います。

・16:00からの途中参加でお聞き出来ませんでしたので、割愛させていただきます。

・人間の醜い欲望を抑えるために宗教が必要であること、仏教の世界においては観念的に理解できません。しかし、お話しされたように世界には様々な宗教が存在します。中には（民族）宗教が戦争を引き起こすようなことも多くみられます。現にロシアのウクライナ侵攻はロシア正教を精神的支柱としているプーチンの独断とも言われています。人間の醜さの極致ともいえる戦争に宗教の力がどのようにかわれるのか？今日の世界情勢を踏まえて宗教と戦争についてもっと深掘りしたお話を伺いたいと思います。ありがとうございました。

・科学は、進化していくが、人間は生まれ変わると、一からしか成長しない。人間の本质は、変わらない。日本を1600年間支えてきたのは、仏教である。等々、考え深かった。

・宗教を世界的に見ると西洋と東洋では異なる相対的な視点で俯瞰すると、様々な文化や行動様式にも影響を与えていると考えられ、国際競争（対立）、国際紛争の根源になっているものではないかと改めて考える機会となりました。宗教を学ぶことは、本質的な世界平和のための要件ではないかと考え、対立二者のそれぞれの宗教を分析し、双方の相容れない許しがたい価値観を知り、客観的な価値観や国際基準を物指しとした裁定を仰ぐことでしかない、又は時には納得しがたい自由も平等も犠牲を伴う是々非々をいかに受容するのかについて思案することができました。

・何が言いたいのか良くわからななかつた。もしくは何が話されていたのか覚えていない・・・。期待していたけど残念。

・人間は進歩しないという言葉はまさに自分に言われているようで骨身に沁みました。その他にも数々の言葉が心に響きました。中でもお釈迦さまの遺言という自灯明、法灯明という言葉は初めて耳にする言葉でちょっと調べてみようと思います。私も人生最後の学校に入れるように努力したいと思います。ありがとうございました。

・年を重ねるごとに仏教の深みをご自身で感じていらっしゃる、同時に学生として学ばれている貴重な方からお話を伺えることがまずありがたいと思います。松崎智海さんの「だれでもわかる ゆる仏教入門」を読んでいる部分や、以前のビデオでも紹介された法灯明、自灯明等復習になりました。本格的に宗教を始めるのを人生の後期から初めて、社会に還元することをおすすめされていて、あまり多いキャリアパスではないものの、人生を豊かにして、社会にも還元できるものだと分かりました。いつからでも智慧として拝借して生かしていけたら良いなと思いました。

・企業家としての実務経験を活かし、住職としてご活躍しているお姿に大変感銘を受けました。宗教家としての視点とビジネスマンとしての視点、人生経験があるからこそその一言一言が身に沁みいります。今度、お寺に行き座禅を体験したいと思いました。

・ご住職の講話で、日本式の仏教というお話がありました。仏壇に先祖を御祀りし、日々手を合わせて拝む事で、信心に繋がっているのだと思います。（我が家には仏壇はありませんが）私にとって宗教とは、信心する事で人間が傲りを除き、謙虚な気持ちを持つためのものだろうと思います。

・参考になりました

・御住職のお姿を拝見し声を聞くだけで嬉しく感じた。素晴らしいお話に感謝します。法妙灯と自妙灯☒☒自分の信念を持つ、揺らぎない信念を保つには座禅が大事なのだろうが、日々の暮らしの中で心を整えるヒントを頂けたら幸いです。

・お寺が社会との接点を作り相談相手にもなっていくことを話され、身近にも感じつつも、深い歴史の変遷の中で、宗教を感じる事ができた。

・信仰の捉え方が論理的に思えました。現実社会に仏様はいらっしゃいませんので論理的は変かも知れませんが。仏教を自分のものにする努力には感動しました。日本に根付いた仏教を教えて頂いたこと、伝統仏教の人心離れには仏教界の世間知らずも一因であることなど、現状を良く理解出来ました。仏教系学校を出て、大本山で勤修し、代々の寺を継いで行くのでは社会と距離があってもおかしくないと思いました。また檀家側も寺との接触をどの様に持てば良いのか困っているのではないかと考えさせられま

した。

・ご講演ありがとうございました。88歳で大学で学び、また、立ち姿も凛となさっていて美しく素敵でした。人生には、挫折、病気、人間関係の悩みもあります。それを、乗り越えていけるかどうかで、人生の幸不幸がきまる。そのようなときに、宗教の必要性をかんじます。生きるうえで大切であることをさらに深く考えることができました。

・会社を退職されてから仏教を学ばれていることをよく理解できました。まとめておられる卒論の概要を知りたいと思いました。

・実業界から住職の道に転身されたという事で話の中身が身近に感じられた。また住職は世襲制が多く現実の世界から離れた経験の人が多いとのこと指摘、なるほどそうなんだと思うと同時に「道德の規準がなくなっている」「人間は欲のかたまりだ」というような課題を解決するにあたって、ある程度世の中の現実の世界を知っておかないと住職の説得力のある講話などできないのではないかと思った。また現在花園大学の4回生とのことで、その意欲や健康の保ち方、定年後の企業人の生き方に大いなる刺激を与えて頂いた。

・こころ洗われる思いで拝聴していました。

・宗教（仏教）について、非常に興味を持ちました。年齢を考え、意識していきたいと思います。

・住職の人生の機微に富む世界観を感じることができる有益な法話でした。ありがとうございました。

・出家するに至る心の変化や経過についてもっとお話を聞きたかった。
(※もうすぐ還暦を迎えるので)

・30台で転職後、今の会社で残り2年弱となり退職後どう過ごすかという事については、自分なりに考える事はあったが、地域社会との関わり方などのヒントをいただいた気がする。

・晩年は、僧侶になれと言われても…。

・宗教とはなにか考えたことはあまりありませんでしたがお話を聞いて日本古来の文化にもかかわっていて 良い風習は残していくべきなのだろうなと感じました。

自分の家や親せきも仏教で家に仏壇と仏間があります。

よく親せきの家に行くと、まずは仏壇に手を合わせて節目節目で挨拶をしていました。

自分は仏教徒という意識はあまりもっておらず熱心でもありませんが、

そういう風習が人の心の安らぎやバランスをとるものではないかと思いました。

・自分の両親の年齢以上の方であるが、矍鑠とした姿や考え方について感銘した。

・ただただ凄いなあ、と。

・年を重ねる事の、深みを学びました。ありがとうございます。住職と言う今に、ビジネスマン時代を活かされていらっしゃるよう、お見受けしました。

・人間が人生を生きる上で、宗教が大切であることが痛感されました。戦争や環境破壊等、あらゆる問題が昨今、生起しておりますが、究極は、人間が起こしてしまった問題であり、

これらを解決するには、宗教の力が絶対不可欠であると確信するに至りました。

・現在、花園大学の4回生として在学されており、卒論に忙しい日々とのこと。とても私には真似ができないことで驚いております。

・柴田住職のお若さに驚いております。
心と気持ちの若さを無くさないようにしたいと思いました。

・人生を真正面から渡って生きておられる様子が直接伝わってまいりました。その話し方と、その姿勢と所作に感銘を受けております。私のこれからの人生はこのようになって欲しいと思い、生きる鏡といたします。ありがとうございました。

・営業は、ノルマを上げることが目的ではなく、お客さんの「困った！」を一つ解消することが目的です、というお話がよかったです。

・柴田住職がジャック・ウェルチに実際に会われた話にも驚きましたが、ジャック・ウェルチが腰の低い人だったということでそれまでのイメージが覆されました。

・科学は右肩あがりに進化するけど、人間は進化しないという言葉は、あらためて納得しました。いつまでも同じ過ちを繰り返すということが人間の性であれば、やはりそれを肝に銘じ、先達の教えを学び、謙虚に生きなければならないと感じました。柴田住職のお話はまた次回是非お聞きしたいです。

・「生きていくには宗教が必要だが、今、宗教が人々の生活から離れていってしまっている。」というお話が印象的でした。お寺も世襲制で2代目、3代目となると一般社会の経験がなく、社会に出てすぐに僧侶となるので坊様になる勉強はしているが一般社会人としての経験がまったくなく、檀家さんの相談に応えることができないのだとか・・・全く同感で我が家のお寺は祖母の代からの付き合いですが、寺が遠方ということもあり、今では年2回彼岸の時にお経をあげに来るだけ、しかも忙しい時期なのでアルバイトの住職さんがやってくる・・・私の代では多分呼ぶこともないだろうし、墓じまいまで考えてます。ましてや相談相手としては考えられません。世の中全体にそんな流れですが、宗教の需要が無いわけではなく所謂、新興宗教は世間的に問題を起こしながらも信者が沢山いる。みんなが皆、強いわけではないので心の拠り所を求めている。宗教を自分の根っこに持っているとは価値観、考え方も変わってくる。でも、宗教の違いが戦争の要因にもなるので難しいところです。必要なのは、ご住職のおっしゃっていた「利他」の心。しっかりと意識しておきたいと思いました。

・私は幼いころお寺の近くで育ち、柴田住職がおっしゃる通り、事あるごとに住職より言葉をいただいていた記憶があります。あまり、住職は何をしてはいけないと言われてなっかような気がします。しかし、危ないことをすると、全員本堂で何が危ないことなのか分かるまで言われた気がします。柴田住職が言われた、生活に密着した宗教がまた復活できるような、地域との関係を築いていけたらと思います。

・第二の人生における宗教のすすめは、哲学のすすめに置き換えると分かりやすい。学校教育には、カルトも含めたあらゆる宗教の時間が必要だが、それを担当できる人材は少ない。

・現在のお寺や住職は、世襲制の影響により一般社会から離れつつあるという現状に大変驚きました。そして、一般社会で働いてこられた方々に、第二の人生を住職として活躍してもらおうという取り組みは、素晴らしいアイデアだと思います。おこがましいかもしれませんが、私の人生の選択肢に「住職」という職業を加えてみたくなりました。

・宗教心が世代によって違うのは、お寺と地域の結びつきというお話があり、確かにそうだと思います。どんどんお寺を守る人がいなくなっているという話もよく聞くので、日本の1つの課題に取り組みられている柴田さんのお姿に感銘を受けました。

・大変興味深いお話しでした。

将来のことをもう少し真剣に考えてみようと思いました。

・大変有意義な講和でした。特に「人生最後の学校」として宗教を学びなさいは、人間としてのあり方を見つめ直せとも取れる助言でもある様に思えました。

・すごくわかりやすい説明でためになりました。レジュメの内容がすべてお話になられたように思えたので、時間が足りなかったのかと思います。

・第2の人生、考えさせられる内容でした。

・現在、様々な宗教があり、正しい教えとは何なのかわからなくなっていると思われる。人を敬う気持ちが薄れている世の中になってきた気がするので、若い衆は教えに触れ、人のありがたみ敬う気持ちを知る必要があると思われる。

・柴田住職の背筋がピンと伸びて、誰にも分かり易く丁寧にお話しするお姿そのものがとても美しく感動いたしました。お話をお聴きして、ともするとおざなりになりがちな我が家の仏壇やお墓でのお勤めも、息子や娘や孫たちにきちんと伝えなければならないことが沢山あると改めて思い直し、目覚め、心を新たに生きて行くことを胸に刻みました。

【自由記述】

- ・運営で忙しくてちゃんとフルで聞けてないので後程
- ・人選もよく、伊庭野先生のファシリテーションがすばらしく。内容豊かなクロストークでした。ありがとうございました。
- ・野田さんも平田さんも、ご自身のご経験を踏まえて貴重なお話をしていただいて、大変参考になりました。進行役の伊庭野さん、とてもよかったです。
- ・クロストークは、柴田住職のお話を引き出すような進行していただきたかった。特に野田氏と平田氏のお二人は、自分のことばかり喋りすぎだという感想をもちました。
- ・平田さんの変えることのチャレンジの話、野田さんの価値観の違いなど、仕事につながる話が面白かった
- ・一個人としての意見ですが…、組織と個人との関係(労使間)に緊張感がある、外資系企業の文化の一部でも浸透すれば良いと思います。これ以上、法が労働者を保護すれば、ダメな社員が、より増えるのではないのでしょうか。「労使対等の立場」が原則ですが、労働者優位になっているように感じます。
- ・みなさんの知見の広さ深さに感動しました。大変面白いトークだったと思います。
- ・楽しく拝見させていただきあっという間に時間でした。ありがとうございました。
- ・パソコンの導入のお話が興味深かった。
- ・野田さんのお話が面白く、参考にさせていただこうと思いました。とても苦勞されていることが良くわかりました。これからどう生きるか。真摯に考えよう。
- ・4名の方たちは、日本がどん底から高みへと這い上がる時代、世界一となった最盛期、そして「頑張って仕事を増やさずにシェアしよう」という掛け声で、凋落した状況をすべて経験してしてこられました。経験をされた方の発言は重いと想います。これから自分はどうすべきか、笑って終わることができるのかを改めて考えさせられました。
- ・それぞれキャリアの違う個性的な出演者による「どう生きてきたか」「これからどう生きるか」の話はとても聞きごたえがありました
- ・いろいろな考えの方のご意見が聞けたので、まさにクロストーク。とても楽しく拝聴いたしました。野田さんのはっきりしたコメントが特によかったです。
- ・野田先生のかっこいい女性像満載のお話が非常に共感でき、ファンになりました。対面で直接お会いできず残念でした。
- ・自己、社会を改めて考える機会を得ることが出来ました。
- ・各界でご活躍された皆様のそれぞれのお考えに感銘させていただきました
- ・クロストークは聞きやすくよかったです。

・これからの社会を生きていくうえで、今までの働き方は通用しなくなる可能性を考えなかったわけではないが、改めて考えさせられました。

・子育て、親の介護など日々の生活で余裕がなく、自分自身の生き方を見直して大きく変えていくのは現実的ではないと感じていますが、少しでも時間を見つけ、自分自身を一步でも前に進めること、地域や社会のために何かできることを見つけていきたいと思います。

・それぞれ素晴らしいご意見を伺う事ができて参考になりましたが、時間が短かったせい（徹夜で討論の内容）もあると思いますが、パレリストの方々の言わんとすることがそれぞれ微妙に異なっていて、話の本質でかみ合っておらずクロストークしていなかったのが残念でした。

・新たな気づきを得られました。良かったです。

・個人のいろいろな経験や考えが聞けて、よかった。年代により、考えが違うとの意見に共感した。（今と10年後では考え方も違って来るだろうと思い、10年後はどう考えているか？考えてみたくなった）

・異業種の方々の色々な立場経験でのコメント、大変参考になりました。

・野田さんの欧米での経験された内容に深く興味を抱きました。「自分たちで何かをやらなければならない」と言うことが大前提であり自分たちでヤル！！これに尽きる言葉な無いと目から鱗が落ちました。

・時間の関係だとは思いますが、先生方の経歴より「どう生きるか」という点についてより深い議論が聞きたかったです。

・4人の方々の丁々発止のやり取り、非常に緊張感があり、面白かったです。貴重なご意見ありがとうございました。

・役場や他の誰かに任せるのではなく、自分たちの頭を使って問題を解決していくことの大切を学びました。日本とアメリカでの役場の立ち位置の違い、またNPO活動の普及率の違いの（オリンピックを州主導でなく民間主導で行った）話は特に印象深かったです。

・会社と個人との距離をおくことは、現代社会において必要であることに共感しました。決して会社のいいなりや身をささげることなく、会社を通して社会貢献できるよう活動していきたいと思います。

・自ら考え、行動しなければならぬのですが、「どう生きるか」はすぐに結論が出ない、難しいと問いなのだと思います。大事なのは、「折に触れ、自分を見つめ直し、未来を見据えること」なのかな。お話しくださった皆様から「そうじゃないだろ、今日の話は！」と怒られるかもしれませんが、これを今日得た教訓したいと思います。

・各界でご活躍中の皆様のお話(生き方)を聞く機会をいただけて良かったです。

・日本では互助という言葉があるが、機能していないということクロストークを聞いていた中で着想した。

言葉だけの互助ではなく、実際に機能させる互助を実践できるようにしたい。

・住職が言われた「現役時代に宗教を学んでいれば、みんなのこと、社会のことを考えた仕事ができるのでは」というお言葉が印象的でした。自分は75歳ですが、これから

の人生についても活かせると思いますので勉強しようと思います。

・柴田住職の言葉で「注文を取るのはお客様の解決をしてあげること」との事。その気持ちが大事だと思いました。

・野田評議員のダイバーシティのお話で日本の古い文化のため外資系企業に行かざるを得なかったというのは印象的でした。また平田理事の残業100時間等、高度成長期の日本の姿を改めてお話いただき、現代とその過去の一部を知っている間にいる私も今後の仕事への取組みを考えていく良い機会となりました。富士通VS IBMのお話からの伊庭野理事のIBM出身なのでその下りは面白かったです。

・1時間という枠の中で、伊藤さんのファシリテーターはゆったりと進められて、心地よかったです。また、4分割でのカメラワークもバックに緑が入り、みなさんの表情も含めてステキでした。その中で、力みのない野田さん、とても素敵でした。自分自身を出しつつも相手を尊重し、笑いをもとられる！こんな方になりたいな！と思いました。ありがとうございました！

・経験豊富なパネリストの皆様も苦勞をされて今がある事が分かり親近感が湧きました。現代を生きるのは皆悩みながら道を探す時代という事を実感しました。

・立場を変えて生き方を考えてみるのも必要だと思えて、有用なお話が聴けた。

・ご登壇されました3名様の間まで生きてこられた経験談やそれに基づくこれからの生き方のお話がそれぞれとても面白かったです。

・これからどう生きるかということで、色々なご意見があり大変、有意義でした。中でも組織に所属していても社会に足して利他の精神で自ら行動することを日々考え実践していきたいと思いました。正にAVCCの求める人材像にある生き方なのかなと、再認識致しました。

・戦前、高度経済成長期、そして現在の企業の置かれている状況、どのように働いてきたのか、とても興味深いお話しでした。今、そして今後社会がどのように変わっていくのか、その転換期を自分はどのように生きていくのか、考えてみる良い機会になりました。

・諸先輩型の経験談が大変勉強になりました。野田さんの短くも重要な視点、コメントに共感する事が多く、多様な視点でのクロストークは、発見がありますね。もっと若手の参加も期待しています。

・各界で活躍された方々の話が聞けて楽しかったです。締めめの久保田常務理事の言葉が、明快・洒脱で一番でした

・今は会社の言うままに仕事をしていてもダメな時代というところが印象に残りました。本来そうあるべきでなんでしょうけど会議での発言等積極的にしていこうと思いました。

・日本とアメリカの文化の違いが興味深かったです
私はバブル期に社会人になったので、何も考えなくても仕事に来る時代でした
現在は、1つの受注を取る事、利益を出すのに苦勞する時代になったと思います 柴田住職の「営業はノルマをクリアする事では無く、お客様の問題を解決してあげる事」
職員必携の手引きの「峠の茶屋」のおばあさんの話を思い出しました 世の中の動向を感じながら仕事の仕方や生活を変化させる事を再認識する皆さんのお話でした

有難うございました

- ・外国と日本を比較する話がでていましたが、日本について、あらゆるものが、今のままでよいという考えではなく、外国人の生き方、やりかたは、常に意識して学んでいきたいと思います。
- ・お三方の人生どう生きるかのご意見、とても興味深く拝見いたしました。文啓さんの営業時代のお話で相手の仕事を受注することは、いわゆる相手を助けることなんだという考えは面白い、目から鱗の発想でした。ありがとうございました。
- ・戦後の日本を支えた方々の貴重なお話、大変面白く聞かせていただきました。外資に勤めていらした方から、思いのほか自分の意見を言えるオジサンが多い。というお話に、私も驚きました。日本人は、上意下達で上司の命令に唯々諾々としているイメージを持っていましたが、時代は変わってきているということかと思います。しかし一方でSNSによる情報発信の中には犯罪まがいのものも大変多く、自分さえよければいい。話題になればいい。金を稼げればいい。という思想の蔓延を感じます。こういった点も宗教がコンプラ的な基準となってくれるといいですね。
- ・海外でご活躍をされた方々の視点で、今の日本を見るとどうかということが少しですが、理解できた気がいたしました。いろいろな視点で物を見るということは本当に大切だと思います。
- ・常識や価値の変化について関心をもって聞かせて頂きました。ネガティブに言われる現状の日本ですが、希望にも触れて頂き新たな発見がありました。
- ・「個人が組織と距離を置いて生きる」というお話がありました。同感です。これからの日本社会は経済的に貧しくなっても高度成長時代のような裕福さは望めません。組織に身を置いていればメシは食える、生きがいも見つけられる。そんな時代は終わりました。だったらどうすればいいのか？それぞれがどのように生きて、そのためには何かが必要かを個人個人が自覚して生きなければなりません。しかし、一方で一人ひとりの力が結集して大きな力となる組織力をないがしろにしては組織の魅力も意味もありません。組織から一定の距離を置き、多様な価値観を求めようとする人たちをまとめるために組織を俯瞰し方向性を決める人たちのマネジメント能力が今まで以上に問われる時代がやってくると思います。
- ・自分の経験・体験を世の中に還元する、また、困った人のために役に立とうとするボランティア活動が、更に、盛んになることを期待したい。
- ・お二人の異なる正確、価値観、境遇・ご経験が異なるモノの見方考え方に影響を及ぼしているように感じました。また、お二人ともおおらかであり、前向きであることも共通していたように感じます。これまでの苦難に対して論理的、戦略的に取り組まれ、乗り越えられてきたことが、将来について不必要な不安を持つことなく、何事にも動じることなく対処することができ、そのことが落胆せず絶望しない姿勢を可能としており、結果として救済をすぎる対象として宗教を必要としてこなかったのではないかと感じました。お二人に、自殺しようと思った経験、殺人しようと思った経験の有無について質問し、それを宗教に頼ることなく乗り越えられた術について伺いたいと思いました。
- ・若者がいないので議論がイマイチ、残念でした。
- ・立場の異なる4氏のクロストークは気づきがいっぱいありました。ちょっと時間が短くて残念でしたが元気なころの日本を実感することが出来ました。

・柴田さんの「日本製は粗悪品」と言われていたという時代から平田さんの「右肩上がり」の時代の世代をまたがって何うことが出来て良かったです。また、会社に従って頑張っていれば結果が伴った平田さんの世代と、自分の世代の大きな違いも感じました。今はブラックと言われる働き方をしてきた世代と若い世代の働き方に対する気持ちの違いも分かりました。雇用均等法以前の大変な就職状況を経験された野田さんの女性の点が興味深かったです。

KK2で視聴可能な以前の野田さんのビデオも拝聴したことがありますが、また新しく最近の多様性や価値観の違い（日本だと長時間働く方が偉い、頑張っているから良い、イギリス上司からすると長時間＝できない人 という価値観の違い）等も含めてについての深く何う機会があればありがたく思います。

・テーマとテンポの良いクロストークでした。ファシリテーターを含めグローバルなものの考え方や世代の違いによる意見交換もありもっと突っ込んだ意見も聞きたかったです。バックの4画面も皆さんの表情がしっかり見えてよかったです。

・まさか、ガチの富士通とIBMが見られるとは。(^^) 講師の方々がどう生きてこられて、どう生きていくかというお話しをお聞きして、自分はどうかと改めて自問する機会を頂きました。

・参考になりました

・伊庭野様のファシリテーションは毎回素晴らしいです。野田先生から「ダイバーシティは不快を伴う」第二の人生には自ら課題を見つける力が不可欠という意見が刺さりました。

・野田さん：個人と組織の一定の距離の中で、自分で考えていくことの重要性。柴田さん：営業における注文を取るということの意味を、「顧客の問題を解決することである」という意味付けである、と本から学び、行動していた、ということから、宗教的な考え方をしている。平田さん：柴田さんがなぜ僧侶になろうと思われたかを色々質問しつつ、上記のようなことも含め、理解されようとしていたこと。伊庭野さん：野田さん、平田さんのこれまでの生き方を伺いつつ、「今後どう生きるか」まで伺えました。勉強になりました。

・自ら考え、行動することは他人の評価を期待している間は出来ないのではないかと思います。

自ら考え、行動するには自己評価が出来ることが重要なのではないかと気付きました。出席の皆様は立派と言うべきものですが、第二の人生を実践する柴田住職には頭が下がります。コミュニティの役割と根付かせる大切さを理解させてくれました。

・いよいよ、自ら考え行動する時代がまいりました。多くの学びから、刺激を得ました。私自身も柴田ご住職のように、第2の人生をおもしろい！と言えるように自ら考え行動をおこしてまいりたい。

・登壇者の一人として久保田理事長にも入っていただき、AVCCの活動との関係について他の登壇者とのクロストークしていただくことも考えられると思いました。

・野田先生の「個人と組織の緊張感が必要」「一人ひとり個人の強さが求められる時代」柴田住職の「役所に頼らない文化の醸成は必要」「宗教をバックにした仕事、社会への貢献と宗教のバックのない前提での仕事は違う」平田先生の「昔は取る組むことが多くて突走つていけた時代。自分の意見を持つことかまらずい時代」「オリンピックの運営を見ていてボランティアの芽生えを感じた」など示唆に富んだ話が印象に残った。

・人生において何に重きを置くか。人による部分と都度都度の環境によって変化していく。まさしくそのとおり。今を大事にして生きていきたい。

・同世代の方のお話が聞けたため 働き方について、非常に参考になりました。

・様々な分野でご活躍された方のユーモアあふれるトークセッションで、楽しんで聴講することができました。

・野田さんが一番はっきり・しっかりお話されており、おっさんたちはもう少ししっかりしてほしい感じでした（大変失礼ですが）

・業務内容が国内向けではあるが、グローバル社会などの視点の必要性を感じた。

・よく出来ました。

・とても貴重なお話で自分にも置き換えられるところがあって参考になりました。どう生きるか考えたことがあるかという話がありましたが、いつも考えるわけではないのですが、自分も節目節目で考えてきた永遠のテーマだと思います。いつも考えることはあえてしていませんが、会社に勤める自分、個人としての自分の生き方も考えていこうと思います。

・高度成長期を生き抜いた意見については参考になった。

・進行の伊庭野さんを含め、皆さんの、それぞれの立場からのお話が面白かったです。

・野田氏の「ダイバーシティは、鬱陶しい」全く同意見です。
鬱陶しいことは当たり前・悪くないと、御考えのところに、爽快感がありました。

・今回のトークを拝聴して、自身がどう生きてきたのかを問うてみたら、だだ、時の流れに従って漠然と人生を生きてきたように思われました。これからの残りの人生を、自身にとって悔いの残らない有意義な人生を送れることができるようなヒントを明示していただいたトークだったように 思われました。

・皆さまが現役時代にどのように活躍され、リタイア後どうされているか大変参考になりました。動画が公開されたらまた見てみたいです。

・日々の生活や仕事でつい安寧に停滞してしまいますが、これからは自ら考え、積極的に行動をしていかないとそれすらも守れない時代になっていくと思います。
向上心と目標を持っていきたいと思います。

・参加された4人の方々のそれぞれの経験に根差したお考えが判り勉強になりました。

・野田さん、平田さんの流れがよかったです。途中でなんどかお話が途切れるようなことがありましたが、うまく平田さんが救ってくれたと思います。柴田さんが後半エンジンがかかってきましたが、そのあたりで終了になってしまい、残念でした。

・NPO活動がアメリカでは活発で、ヨーロッパではそれほどではないという話は初耳だったので興味を持ちました。

・柴田住職はもちろんです、平田さん、野田さん、それぞれのキャリアをベースに培った豊かな見識を伺うことができとても面白かったです。時間が少し短く感じましたが、また次！を期待しています。進行された伊庭野さんのリードもとても自然で、とても楽しく拝見しました。

・野田さんのおっしゃっていた、自分と会社の適度な距離感がこれからは必要という話が響きました。これまでのような定年まで会社が面倒を見てくれる時代ではなく転職が珍しくなくなってくる時代、常に自分をアップデート、成長させていかないと必要とされなくなってしまう。そんな中で平田理事はいまだにやりたい事が沢山あり忙しいとのこと、バイタリティに溢れていて素敵に見えました。

・「近所づきあい」「助合いの精神」など、今も多少残っていると感じる時があります。今後、自分たちで何ができるのか考えていく時代かと思います。

・その日暮らしのように生きている自分には勿体ないようなお話。人生に物足りなさを感じた時、数千年の歴史を持つ宗教に関心が芽生えるのだろうか。

・営業職のお話で「注文を取ること＝お客様の問題を解決すること」という言葉が心に響きました。

この考え方は、他の職業にも通じるところがあるのではないのでしょうか。相手を思う気持ちがあればこそ、その先の信頼、さらには仕事の結果に繋がっていくのだと思います。

・時間が限られていることがあり、しょうがないのですが各登壇者が豊富な経験をお持ちなので、もう少し踏み込んだところ、今後についての思いまでお話を聞きたかったです。

・皆様の体験談から時代の流れを知ることができ、感慨深かったです。もう少しお時間があればよかったのに、と思いました、

・伊庭野さんの進行はいつもながら大変素晴らしいものでありました。

・なかみ的には人間としての根源的な話が少なかったように思われる。

人類愛、隣人愛、社会観、山積する日本の課題にどう生きるか等々。・他者の課題に「どう助言、解決に向けどう支援するか」の他利の精神に話が進んだことは非常に良かったように思います。

・野田さん、平田さんのお話もためになりました。特に野田さんのわかりやすい話しぶりに引き込まれました。

・貴重な話を聞け、ありがとうございました。

・3者3様、人生の違いの話で大変興味深いと思われた。次回、同様のテーマで開催する際はもう少し我々に近い立場のクロストークであればもっと参考になるかと思われま

・非常に短時間のクロストークなのにそれぞれの方々の個性溢れる示唆に富んだお話が引き出され、興味深く聞き入ることができました。とても幸せな時間を持つことができたことに感謝いたします。

質問4 プログラム全般や事務局の対応（会場参加者の方は感染対策含む）等につきまして、ご意見ご感想がございましたら、どのようなことでも構いませんので、ぜひお聞かせください。（自由記述）

【自由記述】

- ・1部の柴田さんの映像は下から撮った映像だったが、スタジオ入口上部のカメラで、上から撮る方が良かったのでは
- ・盛況でした。すばらしい。内容も大満足。難しいクロストークもたいへん中身のあるものでした。映像もよかった。スタッフの皆さん、たいへんでしたね。ありがとうございました。
- ・大変良かったです。今後も楽しみにしています。ありがとうございました。
- ・素晴らしい進行でした
- ・2部構成の時間配分がよかった
- ・本日はありがとうございました。運営スタッフの皆様に感謝申し上げます。先人のお話はとても参考になります。コロナ禍ですが、引き続き番組をご提供いただき、益々の事業の発展を期待いたします。
- ・大変良かったと思います。場所、人数、内容全て素晴らしいと思います。
- ・素晴らしいです。名称、定款のご変更、誠におめでとうございます。
- ・よいカメラワークでした。
- ・柴田住職のお話の時間をもう少し長く聞きたかった。特に法灯明のお話を…。
- ・今日から正式名称となったAVCCの、当初の意味と変遷をお聞きしたかったのですが、時間切れで残念です。おそらく日本の視聴覚教育の歴史と変化、現況を知ることができたと思います。社会教育と視聴覚の関わりもお話いただけたのではないかと想像しています。最後の常務理事の締めめの挨拶で名称に触れていただき、良かったと思います。
- ・クロストークの4分割の画面は、出演者全員が顔が見れて新鮮でした。
- ・スムーズな対応でした。
- ・オンラインとリアルイベント良い設営だと思います。
- ・ご設営、ありがとうございました
- ・よかったです。
- ・ライブ配信にて音声や映像の乱れは見受けられなかったので見やすかったです。
- ・レイアウト上ではさほど密になるイメージは無かったのですが、実際参加者が入ると意外と圧迫感を感じ、もう少し参加者数を減らした方が良かったように思いました。
- ・プログラム開始前の画面で、音楽が流れて「画面左下のボリュームで音量を調節してください」と表示されていましたが、画面左下にボリュームがありませんでした。

- ・良かったです。
- ・特になし
- ・本イベントに参画された裏方の皆様のご苦勞が伝わって来ます。本来の日常業務に加えてイベントを処理しないといけない大変さは経験したものでないと感じませんね。本当にお疲れ様でした。明日からまた日常業務で成果をだしていきましょう！
- ・時にありません。
- ・このような人間の本質を問うようなテーマの討論会を今後も期待しています。
- ・久保田代表がいつになく笑顔が多く、フリートークで楽しくお話しをお聞きすることができました。また、クロストークでは柴田住職、平田さん、野田さんのこれまでの生き方、これからの生き方に触れることができました。自分も非常に刺激をいただきました。ありがとうございます。
- ・初めての会参加でしたが、日ごろの仕事を一時離れ、社会人として、日本人としての在り方を見つめ直す貴重な時間となりました。この度はありがとうございました。
- ・初めて参加しましたが、適切な時間配分であったと思います。
- ・今回のプログラムを受けまして、各宗教家のクロストークを聞いてみたいと思いました。
- ・冒頭部分で、映像の乱れがあったが概ね良好に進行できたと思います。皆様、お疲れ様でした。
- ・現地参加からオンラインへの変更等、手続きについて非常に丁寧に対応頂きました。
- ・仙台勤務ですので、こちらでお手伝いのできるがありましたら是非お手伝いをさせて下さい。本日はありがとうございました。
- ・始めて参加いたしましたが堅苦しさもなく、笑いもあってとても有意義な時間でした。
- ・とても豊かな時間を過ごさせていただきました。今の自分に必要なことを得ることができました。感謝申し上げます。また、AVCCとなり更にみなさんの強みが活かされること、願っております！ありがとうございました。
- ・普段聞けない貴重な体験談、考え方が聞け大変参考になりました。
- ・クロストークは短い時間にもかかわらず一定の流れで意見が交わされ聴きごたえがあった。もう何人か話者がいるともう少しばらけて更に面白い話を聴けたのではないかと思います。
- ・法話といいクロストークといい、ご登壇の方々がすばらしかったと思います。
- ・冒頭の映像が切れてスタートしたことは、残念でしたが、休憩の後にきちんと再生されて見られたことは良かったと思います。
- ・組織の歴史が深まると共に、それを構成するスタッフも年を重ねます。ぜひ、新陳代謝を活発化し、女性や若者を同じ割合(または、日本の割合比率)で、対等に意見が言える場があり、皆が生きやすい社会を目指したいという気持ちになりました。

- ・お疲れ様でした。行き届いていました。
- ・ライブ参加なので特にありません。
- ・ライブ視聴でしたが、問題無く、視聴できました お疲れ様でした
- ・ライブ配信では、最初の映像もきれいに映っていました。内容についてもとても良いプログラムでした。
- ・今回の内容は、テーマが壮大で最初はどんな展開かと、危惧しておりましたが、ふたを開けると、文啓さんの法話、お三方のエピソードトークが面白く、正直2時間以上のボリュームでも良かったかとおもいます。なお、リアルタイムの質疑応答が申し訳程度だったのが唯一残念で、もっとじっくり聞きたかった。
- ・導入のVTRが一部欠けていた時はどうなることかと思いました。その後の理事長、まっさきのVTRも途中2～3秒フリーズしていましたが、落ちることなく視聴できました。
- ・音声・画像ともに状態がよかったですと思います。お疲れ様でした。
- ・非常に朗らかな雰囲気の中、心地よく（リモート）参加することが出来ました。登壇された方々のマイク音質もとてもクリアで、裏方の皆さまの努力も垣間見えました。色々勉強させて頂きました。ありがとうございました。
- ・AVCCの紹介ビデオが良くできていた。
- ・共に考え、共に学び、共に担う社会を実現するためには、人の意識と行動を受容する企業等の組織の存在の影響を受けることについて思案いたしました。二人のゲストはそれぞれの企業や組織の影響をそれ程受けずに自らが未来を切り拓いて来られた方々のような印象を受けましたが、多くの国民は、帰属組織の権力の下で、学び考えることが許されない経験を余儀なくされているのではないのでしょうか。発言する機会が与えられない、意見が採用されない、決定事項が管理されず実行されたい、実績が承認されない、評価基準が示されず結果を否定される等々組織における威嚇や報償の権力によって発言の機会が奪われ、一方、そのような心の問題は科学的なメソッドにより機械的に扱われ、柴田住職が言われる駆け込む「寺」がなく、そのような実態を踏まえ、長期的な視座から、最後の人生を宗教に学び、「寺」へ入り、地域社会の悩みに対処する生き方の意義について考える貴重な機会となりました。現状に不平不満を言う、役所に解決を求めるのではなく、その先に自らが地域社会に溶け込み、地域社会へ宗教で貢献する構造に関するプレゼンテーションであったように感じました。どうもありがとうございました。
- ・BS1のカーボン・ファームの再放送を観るので途中(16;50)で抜けました。
- ・2時間という長い時間でしたが内容が濃く、話も考えさせられることが多く、非常に有意義なお話でした。音声もクリアで、カメラもおひとりおひとりワンショットでおさえていて非常に見やすかったです。ありがとうございました。
- ・最初のビデオの大事な部分が映らなかった、ということでしたが、他部分もビデオはまとまっていて取り組みが分かり易かったです。社長が仰ったデジタル庁を作ってトップダウン型にするのではなく、地域の状況に合わせたサポートが必要、という点と仏教を通じてコミュニティづくりが必要な点が、宗教とデジタルと、全く違う様で共通点があり、驚きと発見がありました。参加させていただきありがとうございました。

- ・ 質疑応答の時間をもっととっていいのかなと思います。住職はじめ登壇者の経験からどんな質問にも対応できるのではないのでしょうか。参加型の講演会もよいと思います。
- ・ 久保田理事長から発足当初の活動を、ご紹介頂き、その歴史と活動の意義を知り、とても感銘を受けました。私は四国愛媛の山の出身で、今年62歳です。もしかしたら親に上映会に連れて行ってもらったかも知れませんね。AVCCの更なるご繁栄をお祈りします。
- ・ 良かったです。
- ・ リアル参加させて頂き本当に有り難うございました 久保田理事長から公民館にデジタルインフラが未整備であること、地域住民が自ら活動している中にデジタル化する事でより良い活動になる
高齢者には一対一レクチャーが不可欠という実体験話が刺さりました
- ・ Googleアースの映像から、自然にKK2映像に展開する点など、インパクトのある映像でした。KK2サイト上などでの活用など、楽しみにしています。
- ・ きめ細かな気遣いなど十分ホスピタリティを実践されていると思います。
- ・ 事務局のテキパキとした対応、スムーズな進行、また、avccを紹介するビデオには活力を感じました。
- ・ AVCCの名称変更、おめでとうございます。益々の発展を祈念しています。
- ・ 冒頭のVTRが良かった。
- ・ クロストークについてはこれからの部分でもう少し時間が欲しかった。
- ・ 名称変更、おめでとうございます。
とても馴染んでいる新名称ですが、これからさらに ご発展され、ご活躍されるて行かれることをご期待すると共にが発展されることを楽しみにしております。
- ・ オンラインにて受講しましたが臨場感あふれるイベントで、適度な休憩を設けていただくなど、細かな配慮が感じられました。貴重な機会をありがとうございました。
- ・ 自分の会社のネットワークの問題だろうが、画質を最も落とさない動画が飛んでしまい聞き取ることができなかった。
- ・ 感染対策もほどよくされ運営も非常にスムーズに感じた
- ・ 老後をどう生きるかも大切ですが、20～30代がどう生きるかが大事。
- ・ 冒頭の映像良かったです。
- ・ 完璧にすることは難しいものです。会場運営は、いいせん行っていたと思います。なに分にも事務局側で会場にいたので、そう思いたいです。もちろん今回の要改善ポイントは次回以降に活かしていきたいと思います。
- ・ AVCCの歴史を、もう少し詳しく伺いたかったです。それだけで、一講座になりそうです。

スタッフの皆様、ありがとうございました。時間配分も良く、施設も快適でした。

・今回のトークは、テーマが少し抽象的でゲストが回答するのに、頭を悩ませていたのではないかと思います。

もう少しテーマを具体的なものにすればよかったのではないかと思います。

・今回はAVCC、ML職員の裏方としての作業を見せて頂きました。これだけ準備・対応すれば問題なく進行できますね。お疲れ様でした。

・素晴らしい内容と運営でした。

・事務局のみな様には、お世話になりました。次回もまたお願いいたします。

・良かった点：時間通りに終わったことがとても良かったです。いつも予定通りに終わらないので、自分の予定が狂ってしまい、困っていました。悪かった点：休憩時間が、アナウンスでは10分間16時5分まで、と言っていたのですが、画面が切り替わると16時まで、と書いてありました。聞き間違いかと思い、16時から待機していたところ、一向に始まらず、自分のパソコンが壊れてしまったのかと思い、設定を確認していたら、直前に16時5分から再開、と表示され、休憩が終了しました。ライブ配信ではアナウンスを聞き直すことができないので、正しい情報を提供してほしいです。冒頭で、50人が会場、150人がライブ配信で視聴していると仰っていたと思います。会場に見えている方よりも多くの人間がインターネットの先にいることを、お忘れにならないよう、お願いいたします。 時間に関することばかりですみません。

・講演の後のクロストークの役割が重要だということが改めてわかりました。

・ウイズコロナということで、ハイブリッドでの開催はやはり今後も必要かと思えます。4分割の映像はとてもきれいでした。グリーンを背景に森の中のような感じでした。

・PCを通じてWEBで参加するのは、とても便利で今どきですが、人の話の熱量・空気感はどうしても伝わりにくいのでリアル参加がやはりよいと思った。ただ、今も東京は毎日2万を超えるコロナ新規感染者が出ていて予断を許さない状況が続いているので、有人開催にしたのが良かったのか悪かったかは受け取る人それぞれによって違うと思いますが、今回の会場参加の中から陽性者が出ないことを願うばかりです。最近、ワードショーか何かで、アイドルグループ●●のコンサートが感染対策を万全にとられた中で開催されました、っていつてるが、映像を見る限りとてもそうは見えない。世の中の「安全対策を徹底して・・・」と言えはもはやなんでもありな状態になっているのが少々怖い。

・ライブ配信の参加案内を前日ではなく、2・3日前に送付していただくことは可能か検討願います。

・VODで視聴させていただきました。

・「どう生きるか」という難しいテーマでしたが、出演者の皆様の興味深いエピソードをお聞きして新たな知見を広げられました。今後も人生100年時代を豊かにしてくれるテーマを取り上げていただけることを期待しています。

・全体の時間としては短くはありませんでしたが、きゅっと詰まっていたためか、もう少し長くても良いのでは、とも思いました。もう少しお話を聞きたかったです。

・オンラインでの参加でしたが事務局の皆様大変お疲れさまでした。

- ・クロストーク、もう少し時間が欲しかったです。
- ・クロストーク時の画面分割の映像が鮮明で4人の表情などがよくわかりクロストークのライブ感が良く伝わると思われました。
- ・AVCC名称・定款変更記念に相応しい優れたプログラムでした。関わられたすべての皆様に感謝申し上げます。